

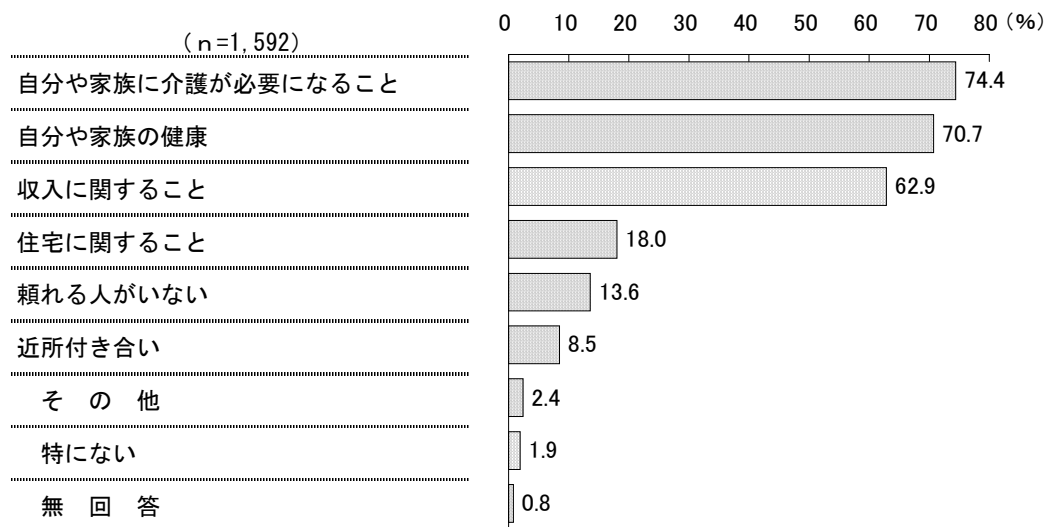
2 高齢者福祉施策について

(1) 老後の不安

◇「自分や家族に介護が必要になること」が7割台半ばで最も高い

問3 県では、誰もが、ありのままに・その人らしく、介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会を目指し、各種施策を推進しています。あなたにとって、老後の不安とは何ですか。（○はいくつでも）

<図表2-1>老後の不安



老後の不安とは何かをいくつでも選んでもらったところ、「自分や家族に介護が必要になること」(74.4%)が7割台半ば、「自分や家族の健康」(70.7%)が7割、「収入に関すること」(62.9%)が6割を超えており、この3項目が特に高くなっている。「住宅に関すること」(18.0%)は約2割で、「頼れる人がいない」(13.6%)や「近所付き合い」(8.5%)は1割前後となっている。

(図表2-1)

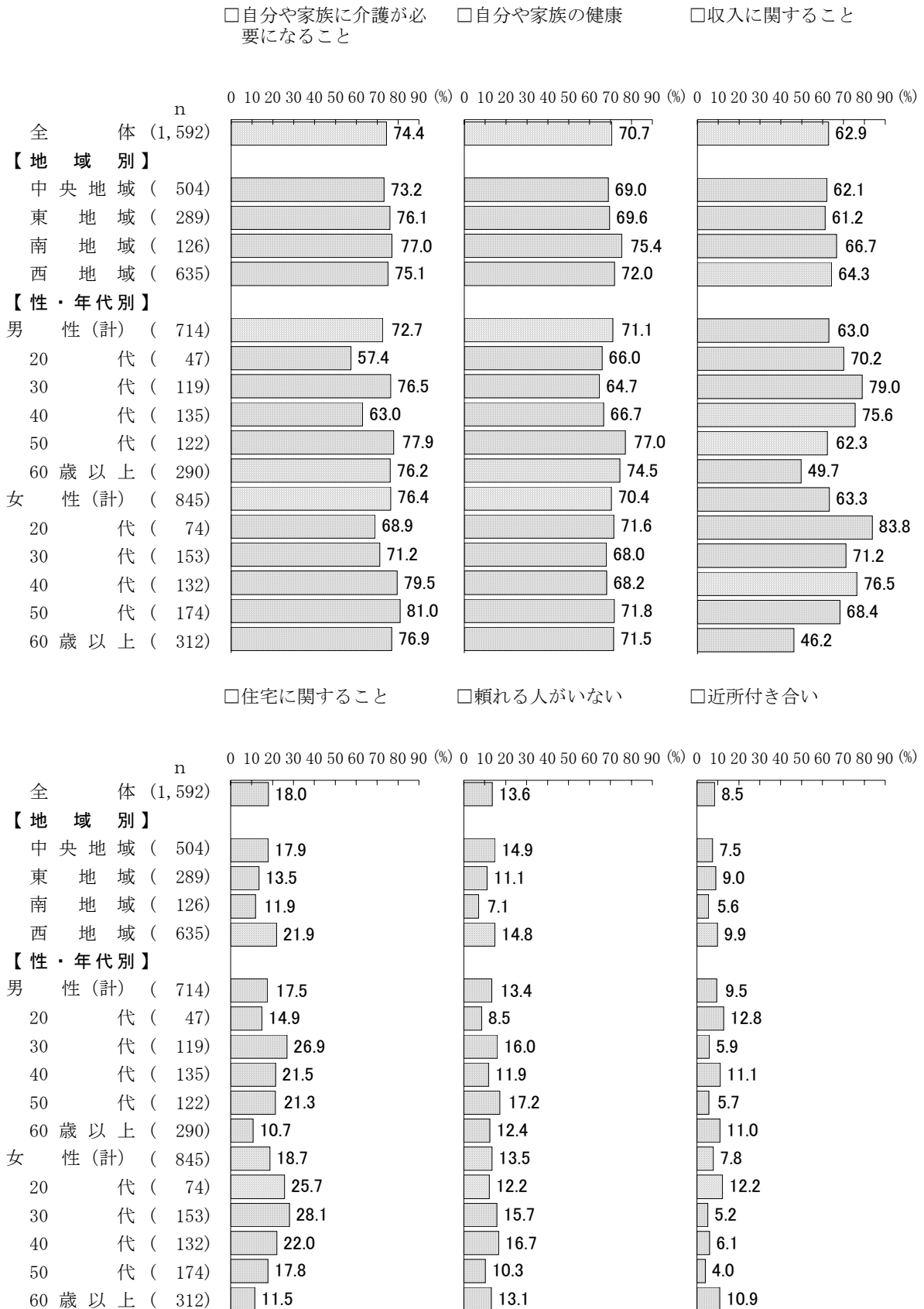
【地域別】

地域別でみると、「自分や家族に介護が必要になること」は各地域ともに7割以上と高くなっている。(図表2-2)

【性・年代別】

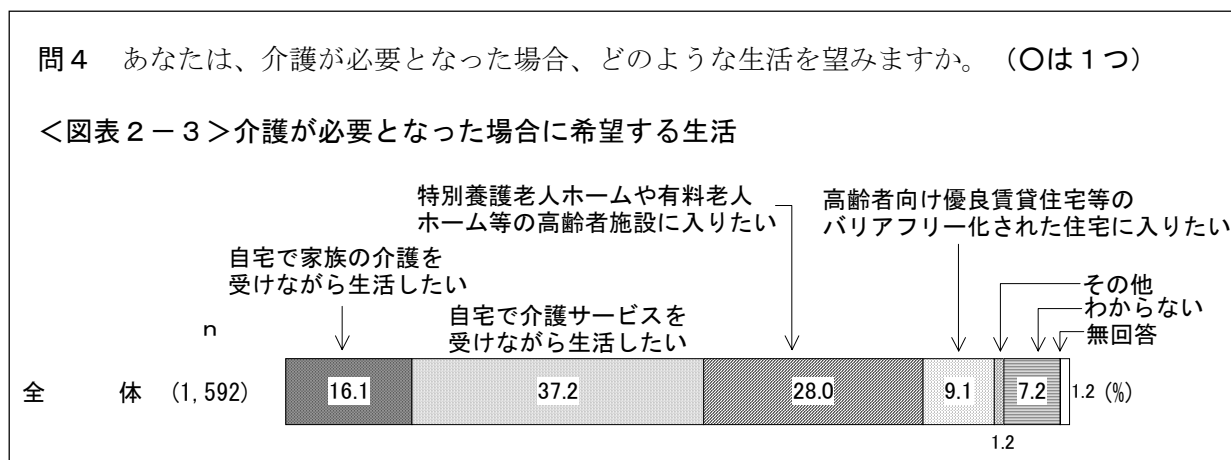
性・年代別でみると、「自分や家族に介護が必要になること」は女性40代(79.5%)、50代(81.0%)、男性50代(77.9%)で約8割と高い。「収入に関すること」は女性20代(83.8%)で8割台半ば、男性30代(79.0%)で約8割と高くなっている。(図表2-2)

<図表2-2> 老後の不安／地域別、性・年代別



(2) 介護が必要となった場合に希望する生活

◇「自宅で介護サービスを受けながら生活したい」が約4割で最も高い



介護が必要となった場合、どのような生活を望むか聞いたところ、「自宅で介護サービスを受けながら生活したい」(37.2%)が約4割で最も高くなっている。「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の高齢者施設に入りたい」(28.0%)は約3割、「自宅で家族の介護を受けながら生活したい」(16.1%)は1割台半ば、「高齢者向け優良賃貸住宅等のバリアフリー化された住宅に入りたい」(9.1%)は約1割となっている。(図表2-3)

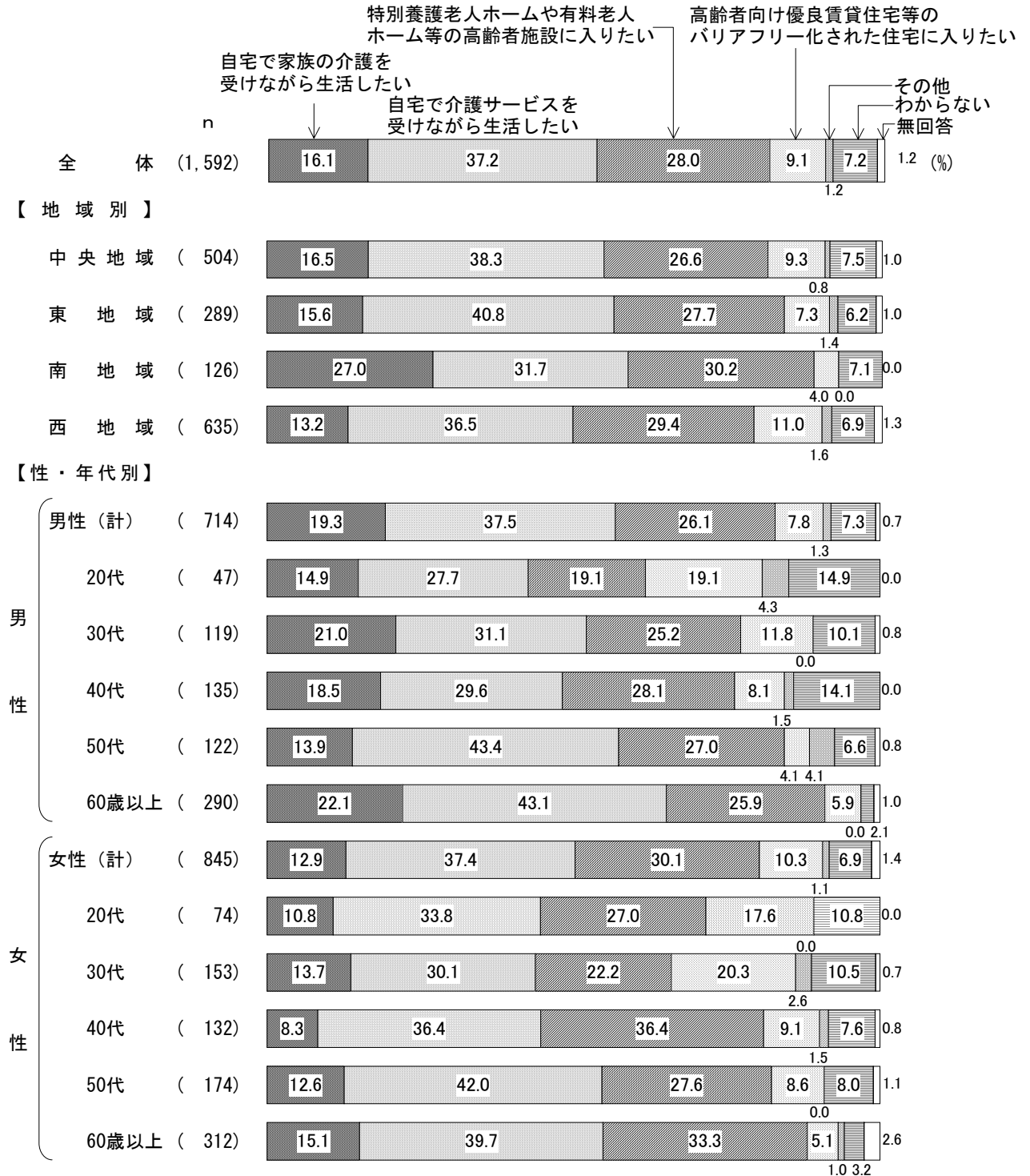
【地域別】

地域別でみると、「自宅で家族の介護を受けながら生活したい」は“南地域”(27.0%)で約3割と他の地域より高い。(図表2-4)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「自宅で家族の介護を受けながら生活したい」は男性の方が女性より約6ポイント高くなっている。「自宅で介護サービスを受けながら生活したい」は男女とも50代以上の年代では4割前後で、40代以下の年代に比べて特に高い。「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の高齢者施設に入りたい」は女性の40代(36.4%)と60歳以上(33.3%)で3割台半ばと高く、男性の30代以上の年代では2割台半ばとなっている。(図表2-4)

<図表2-4>介護が必要となった場合に希望する生活/地域別、性・年代別

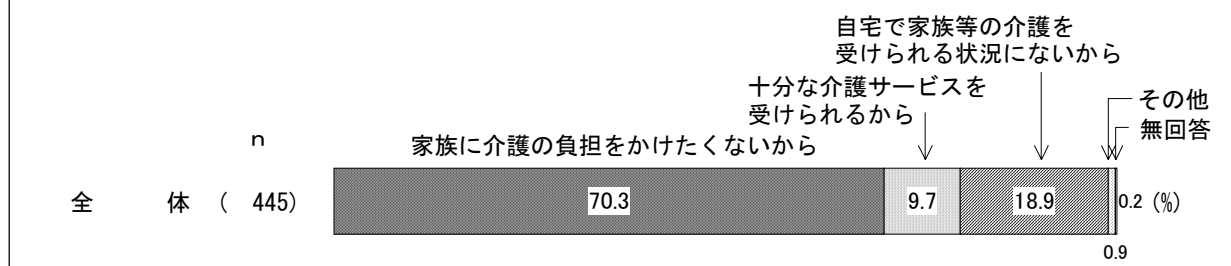


(2-1) 高齢者施設に入所したい理由

◇「家族に介護の負担をかけたくないから」が7割で特に高い

(問4で「3 特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の高齢者施設に入りたい」と答えた方に)
問4-1 あなたが施設に入りたい理由は何ですか。(○は1つ)

<図表2-5> 高齢者施設に入所したい理由



介護が必要となったとき、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の高齢者施設に入りたい」と答えた 445 人を対象に、その理由を聞いたところ、「家族に介護の負担をかけたくないから」(70.3%) が7割で特に高くなっている。「自宅で家族等の介護を受けられる状況にないから」(18.9%) は約2割、「十分な介護サービスを受けられるから」(9.7%) は約1割である。

(図表2-5)

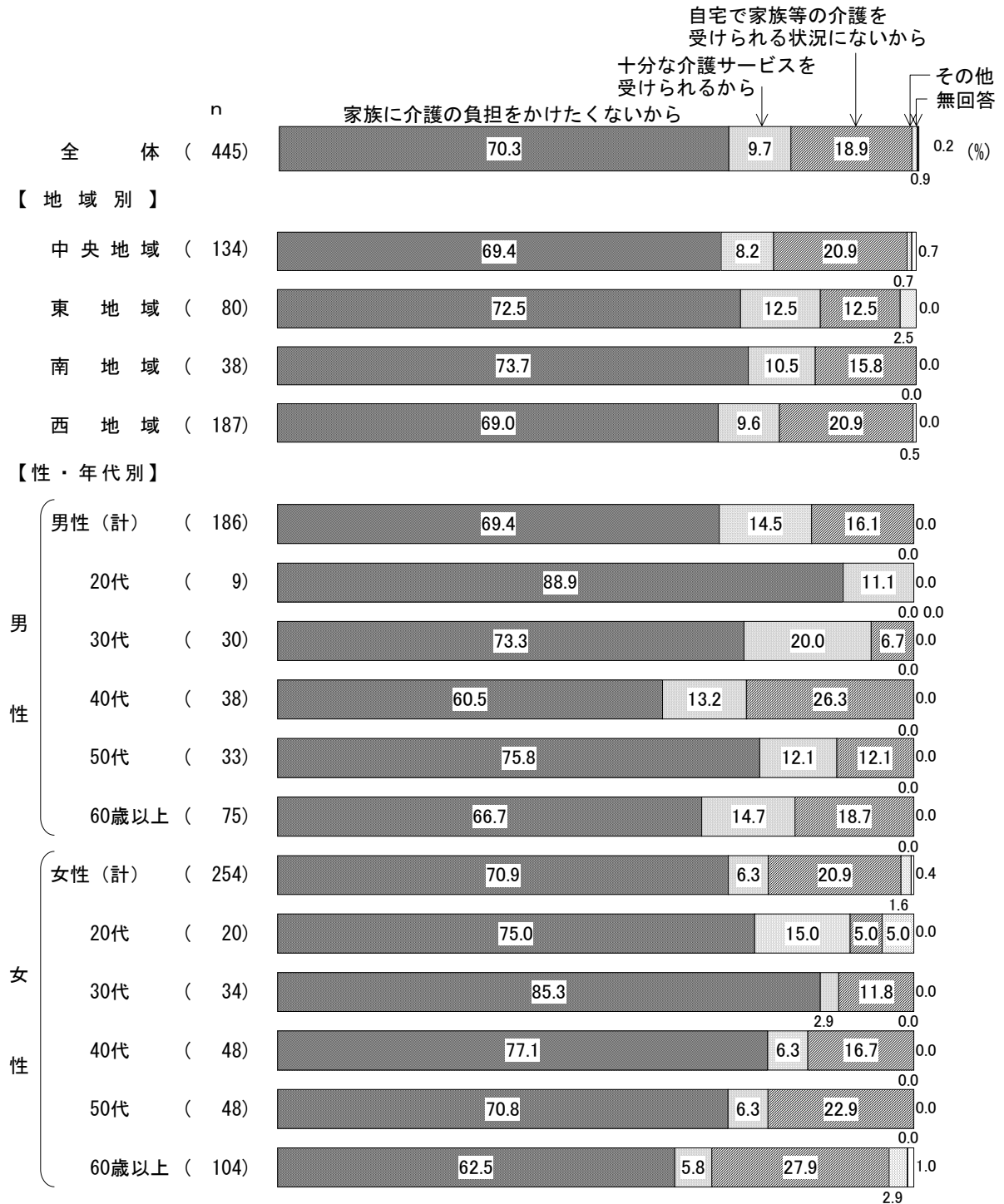
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表2-6)

【性・年代別】

性・年代別で見ると、「自宅で家族等の介護を受けられる状況にないから」は女性では高い年代ほど割合が高く、特に女性60代(27.9%)で約3割と高い。「十分な介護サービスを受けられるから」は男性(14.5%)の方が女性(6.3%)より約8ポイント高くなっている。(図表2-6)

<図表 2-6> 高齢者施設に入所したい理由／地域別、性・年代別

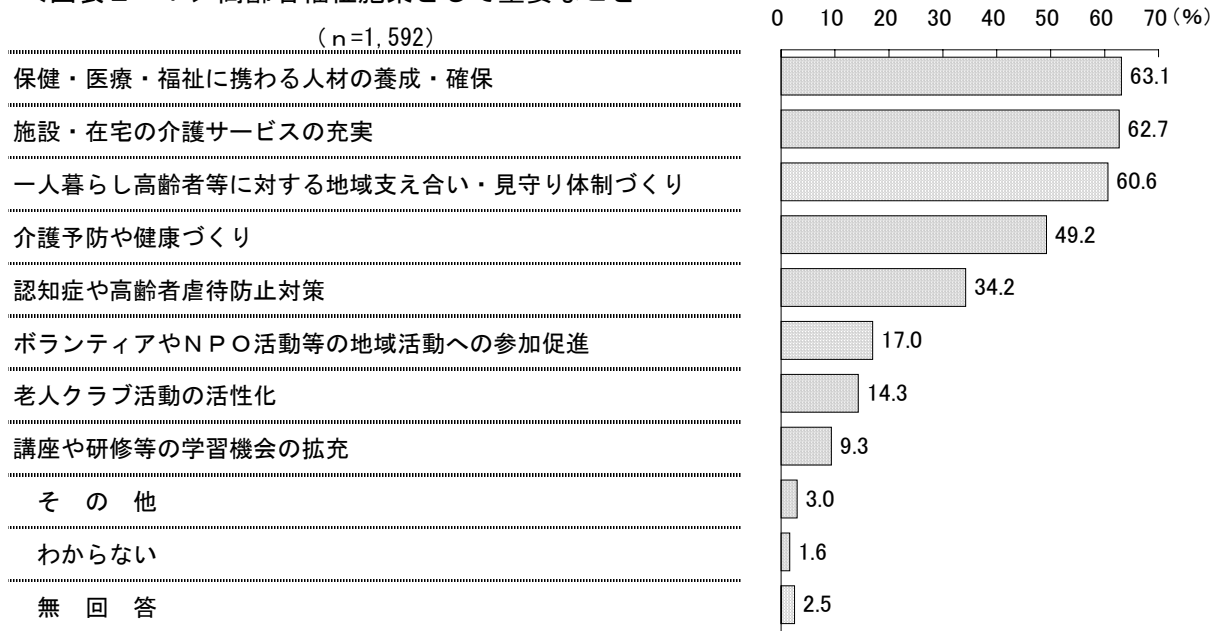


(3) 高齢者福祉施策として重要なこと

◇「人材の養成・確保」、「介護サービスの充実」が6割を超える

問5 あなたは、高齢者福祉施策として、重要だと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

<図表2-7> 高齢者福祉施策として重要なこと



高齢者福祉施策として重要だと思うことをいくつでも選んでもらったところ、「保健・医療・福祉に携わる人材の養成・確保」（63.1%）と「施設・在宅の介護サービスの充実」（62.7%）、「一人暮らし高齢者等に対する地域支え合い・見守り体制づくり」（60.6%）の3項目が6割以上となっている。これに「介護予防や健康づくり」（49.2%）、「認知症や高齢者虐待防止対策」（34.2%）が続く。（図表2-7）

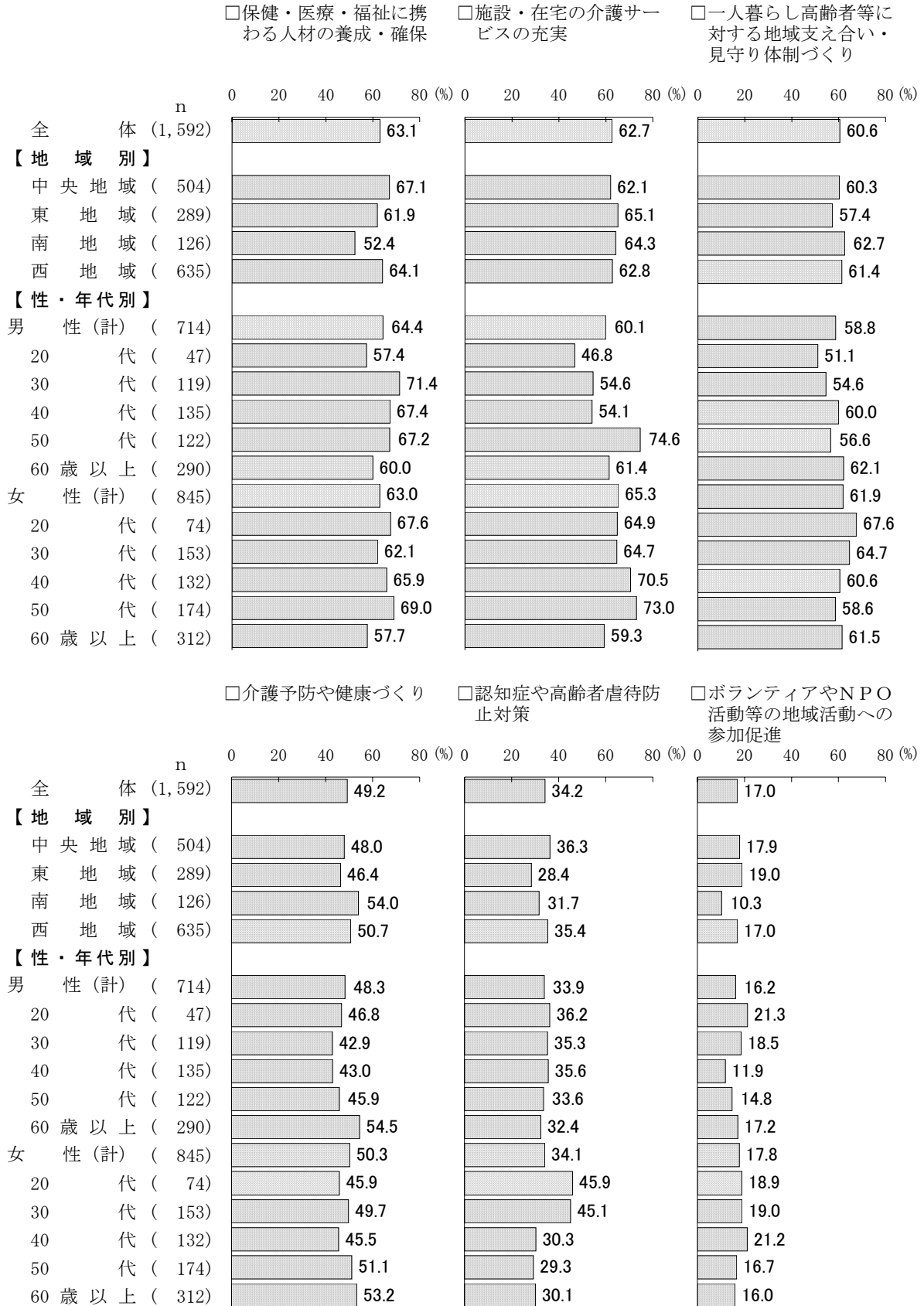
【地域別】

地域別でみると、「保健・医療・福祉に携わる人材の養成・確保」は“南地域”（52.4%）で他の地域に比べて割合が低くなっている。（図表2-8）

【性・年代別】

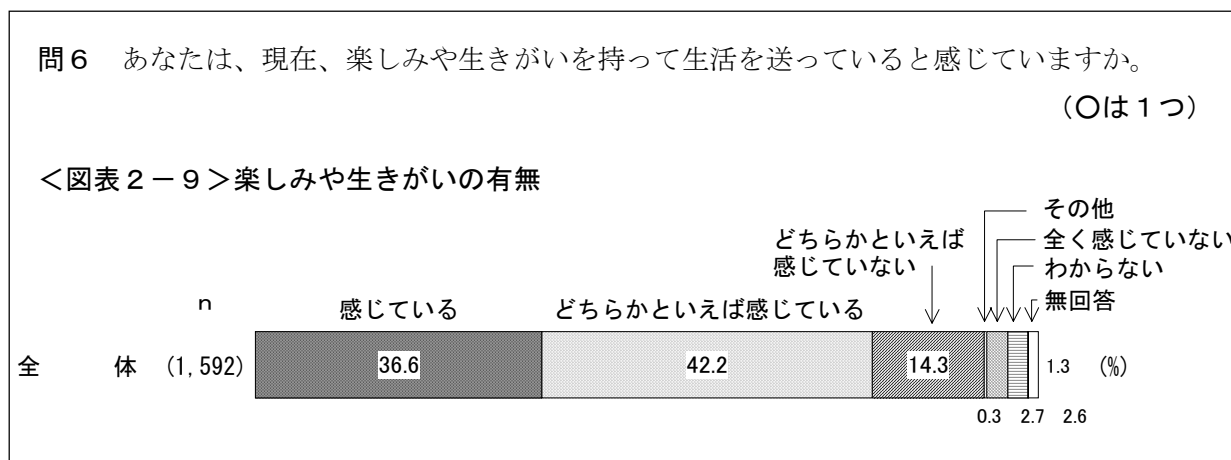
性・年代別でみると、「施設・在宅の介護サービスの充実」は男女とも50代で7割台半ばと高くなっている。「認知症や高齢者虐待防止対策」は女性の20代（45.9%）と30代（45.1%）で4割台半ばとなっている。（図表2-8）

<図表2-8>高齢者福祉施策として重要なこと／地域別、性・年代別（上位6項目）



(4) 楽しみや生きがいの有無

◇『感じている』は約8割



現在、楽しみや生きがいを持って生活を送っていると感じているか聞いたところ、「感じている」(36.6%)と「どちらかといえば感じている」(42.2%)を合わせた『感じている』(78.8%)は約8割となっている。一方、「どちらかといえば感じていない」(14.3%)と「全く感じていない」(2.7%)を合わせた『感じていない』(17.0%)は約2割である。(図表2-9)

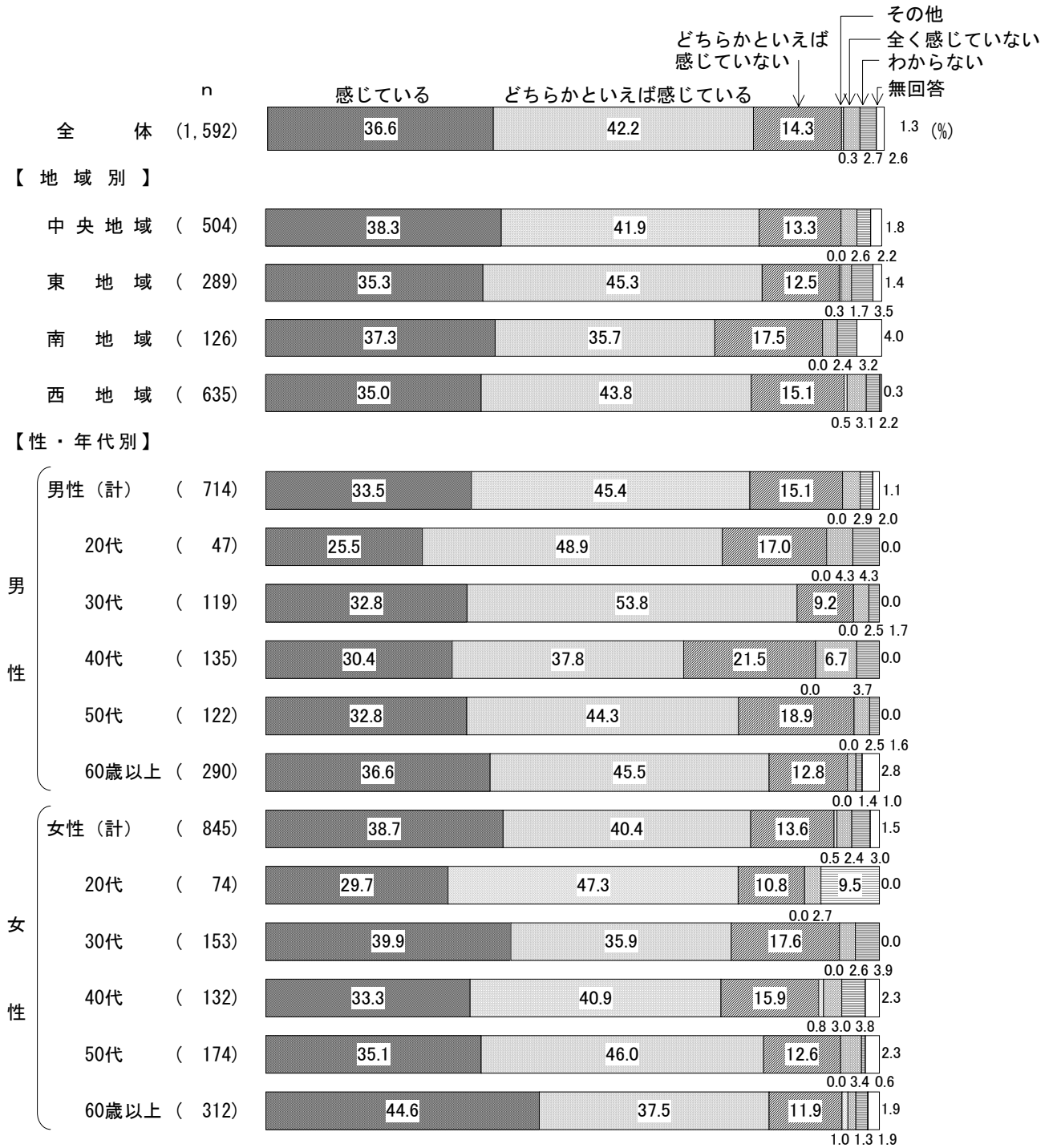
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表2-10)

【性・年代別】

性・年代別でみると、『感じている』は男性の30代(86.6%)で8割台半ばと最も高い。一方、『感じていない』が最も高いのは男性の40代(28.2%)で約3割となっている。(図表2-10)

<図表2-10> 楽しみや生きがいの有無／地域別、性・年代別

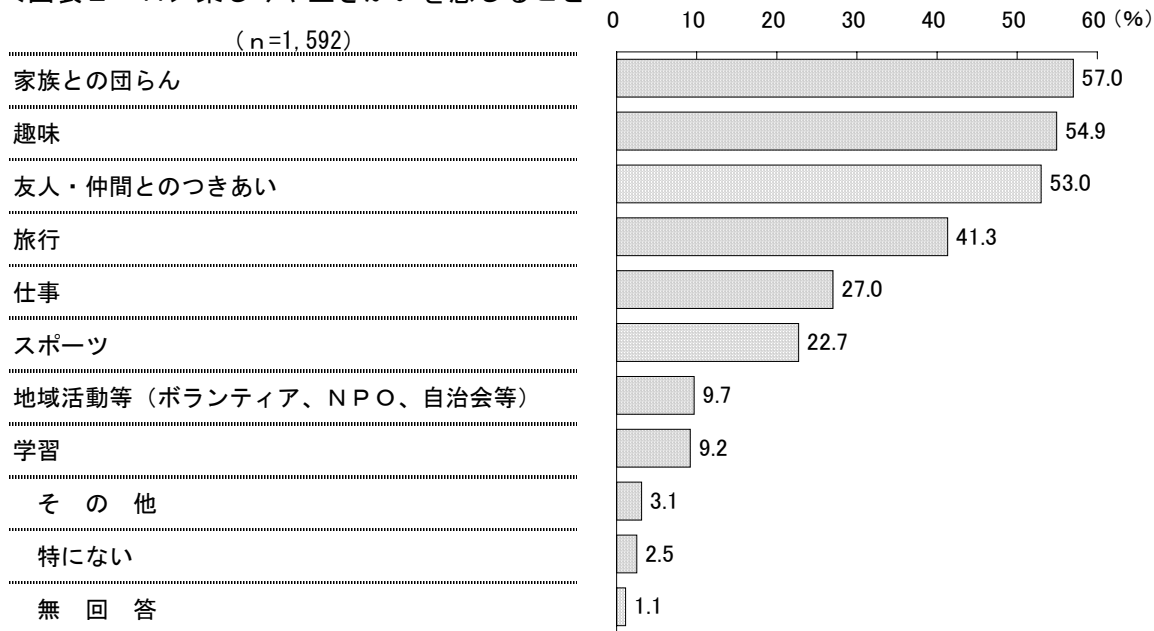


(5) 楽しみや生きがいを感じること

◇「家族との団らん」が約6割、「趣味」、「友人・仲間とのつきあい」が5割台半ば

問7 あなたにとっての楽しみや生きがいとは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

<図表2-11>楽しみや生きがいを感じること



楽しみや生きがいを感じることをいくつでも選んでもらったところ、「家族との団らん」(57.0%)が約6割で最も高く、これに「趣味」(54.9%)、「友人・仲間とのつきあい」(53.0%)、「旅行」(41.3%)、「仕事」(27.0%)、「スポーツ」(22.7%)が続く。(図表2-11)

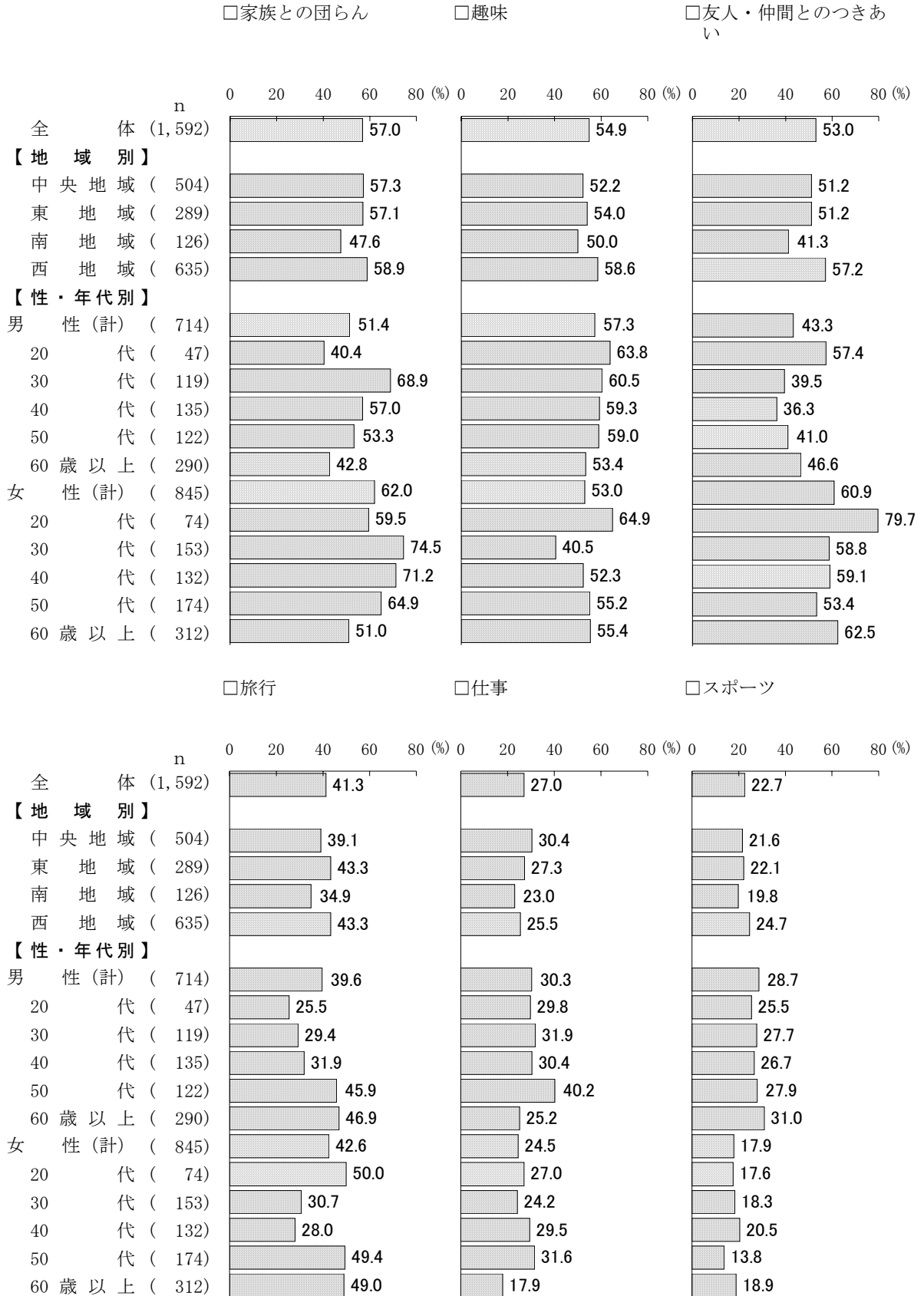
【地域別】

地域別でみると、「家族との団らん」と「友人・仲間とのつきあい」は“南地域”で他の地域に比べて割合が低くなっている。(図表2-12)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「家族との団らん」は、女性の方が男性より約11ポイント高く、女性の30代(74.5%)と40代(71.2%)は7割以上となっている。男性では30代(68.9%)で約7割と最も高い。「友人・仲間とのつきあい」は女性の方が男性より約18ポイント高く、特に女性20代(79.7%)では約8割と高くなっている。「旅行」は女性の20代と50代以上の年代で約5割、男性の50代以上の年代では4割台半ばであり、それ以外の年代に比べて特に割合が高くなっている。「仕事」は男性50代(40.2%)で4割となっている。「スポーツ」は男性の方が女性より約11ポイント高くなっている。(図表2-12)

<図表2-12> 楽しみや生きがいを感じる事／地域別、性・年代別（上位6項目）

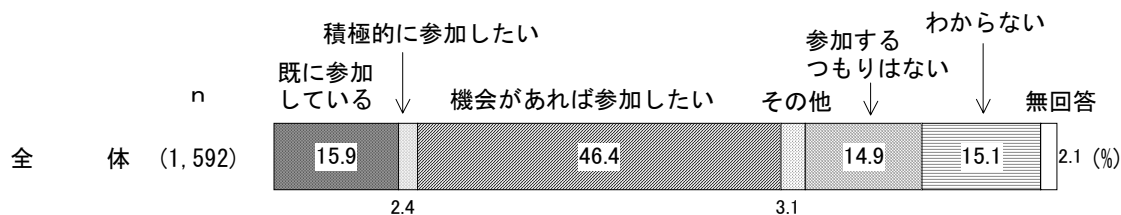


(6) 地域活動等への参加意向

◇「既に参加している」は1割台半ば、『参加意向』は約5割

問8 あなたは、地域活動等（ボランティア、NPO、自治会等）に参加したいと考えていますか。
(○は1つ)

<図表2-13> 地域活動等への参加意向



ボランティア、NPO、自治会等の地域活動に参加したいか聞いたところ、「既に参加している」(15.9%)は1割台半ばとなっている。「積極的に参加したい」(2.4%)と「機会があれば参加したい」(46.4%)の2つを合わせた『参加意向』(48.8%)は約5割で、「参加するつもりはない」(14.9%)は1割台半ばである。(図表2-13)

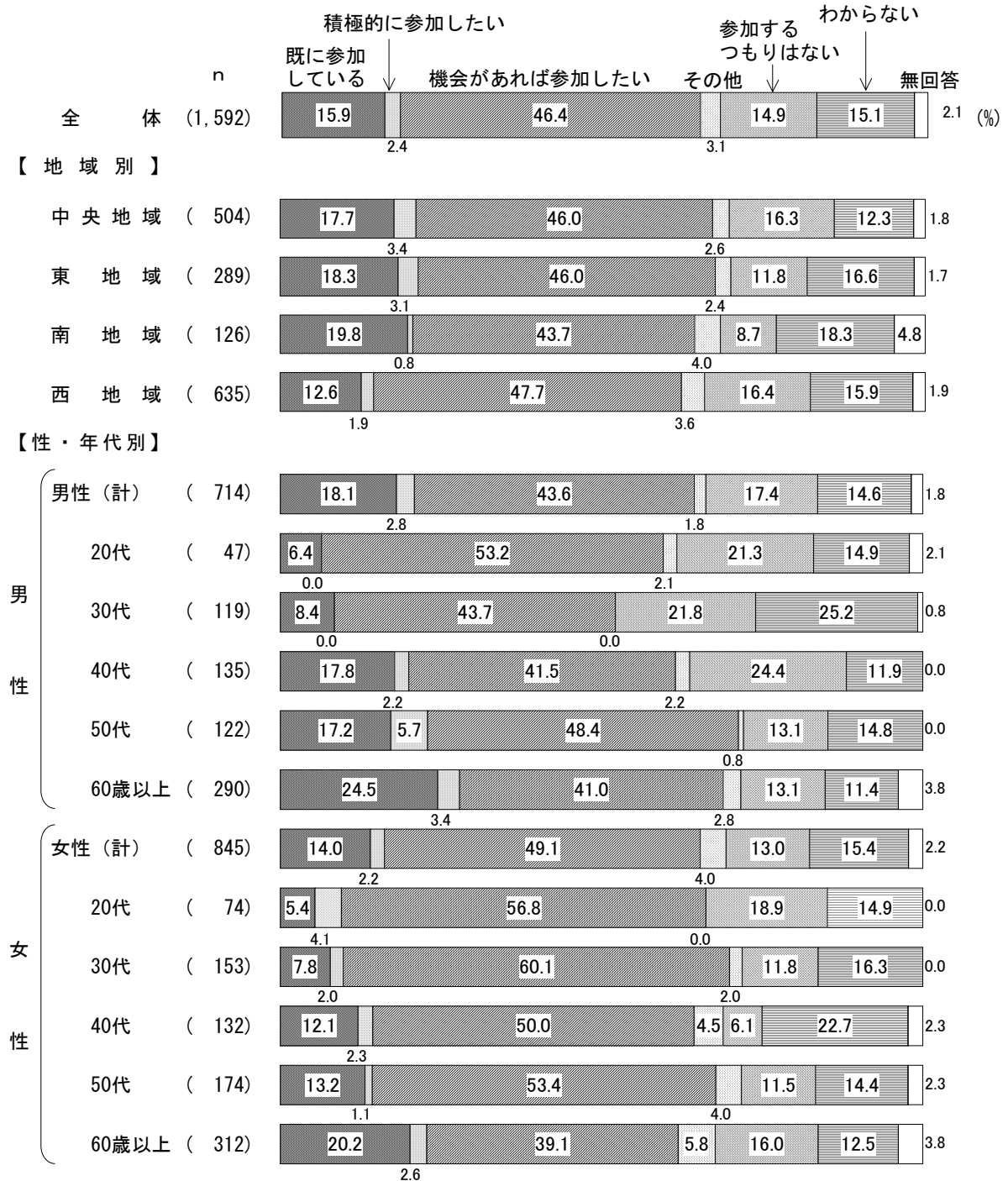
【地域別】

地域別でみると、「既に参加している」は“西地域”(12.6%)が他の地域に比べて低くなっている。(図表2-14)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「既に参加している」はおおむね高い年代ほど割合が高くなっている。「参加するつもりはない」は男性40代(24.4%)で2割台半ば、男性の20代(21.3%)と30代(21.8%)でも2割台となっている。(図表2-14)

<図表 2-14> 地域活動等への参加意向／地域別、性・年代別

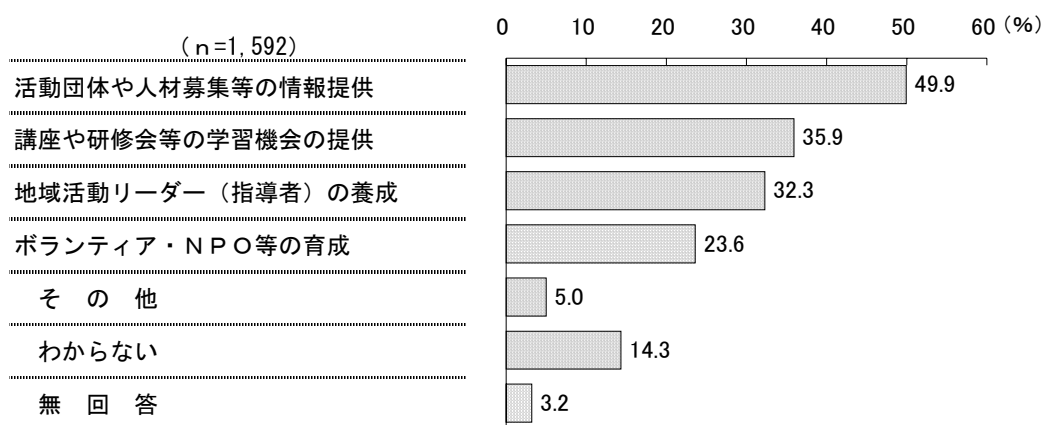


(7) 高齢者が地域活動等へ参加するために重要なこと

◇「活動団体や人材募集等の情報提供」が約5割で最も高い

問9 あなたは、高齢者が地域活動等へ積極的に参加するために重要だと思うことは、何ですか。(〇はいくつでも)

<図表2-15> 高齢者が地域活動等へ参加するために重要なこと



高齢者が地域活動等へ積極的に参加するために、重要だと思うことをいくつでも選んでもらったところ、「活動団体や人材募集等の情報提供」(49.9%)が約5割で最も高くなっている。これに「講座や研修会等の学習機会の提供」(35.9%)、「地域活動リーダー(指導者)の養成」(32.3%)、「ボランティア・NPO等の育成」(23.6%)が続く。(図表2-15)

【地域別】

地域による大きな違いはみられない。(図表2-16)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「活動団体や人材募集等の情報提供」は女性の50代以下の年代で高く、女性の20代(64.9%)と30代(58.2%)、40代(58.3%)で6割前後となっている。「講座や研修会等の学習機会の提供」は、女性の方が男性より約7ポイント高く、女性40代(47.7%)で約5割、女性の30代(43.1%)と50代(43.7%)でも4割台半ばとなっている。「地域活動リーダー(指導者)の養成」は女性60歳以上(38.8%)で約4割となっている。「ボランティア・NPO等の育成」は男性50代(32.0%)で3割を超えている。(図表2-16)

<図表2-16>高齢者が地域活動等へ参加するために重要なこと／地域別、性・年代別

